

# 漆の道一筋59年 勝正弘さん

本町出身の漆芸家・勝正弘さん（埼玉県さいたま市在住、86歳）の漆芸展「漆の道59年」は7月18日から20日まで、葛巻小学校体育館で開かれました。平成9年以来17年ぶり4回目の本町での漆芸展に、約650人が鑑賞に訪れました。

# 漆芸展



第43回日展(2011) 「ニッポニア・ニッポン」



1「わあ〜、きれい」と作品に見入る葛巻小の児童 2会場入口で子どもたちを笑顔で迎え入れる勝さん 3びよぶ絵の大きさとその魅力に引き込まれる来場者 4作品をスケッチする葛巻小の児童 5第42回日展(2010)「茜」の作品前で勝さん家族と鈴木町長 6葛巻小合唱クラブの合唱

初日の18日に行われたオープニングセレモニーには、觸澤義美副町長をはじめ、勝さんの家族や町民ら約50人が出席。勝さんの母校でもある葛巻小の合唱クラブが合唱を披露した後、觸澤副町長が「勝先生のふるさとへの強い思い、59年の長きにわたり漆芸の道一筋に歩んできた情熱を感じ取っていただきたい。特に小中高生には漆芸の第一人者でもある勝先生の作品に触れ、多くのことを学んでほしい」とあいさつしました。



漆芸家 勝正弘さん

## profile

下町地区の出身。これまで、日展特選、日本現代工芸美術展文部大臣賞受賞をはじめ、平成7年には紺綬褒章を受章、平成14年には文部科学省地域功労賞を受賞するなど数々の賞を受賞。また、日展審査員、評議員の要職を務め、日本の芸術文化振興に尽力するなど、今もなお第一線で精力的に創作活動を続けている。

現在、社団法人日展参与、現代工芸美術家協会参事、埼玉県美術家協会参与。

もてなしを糧とし、今後も一つ一つの作品作りに精力を傾け、今日のこの感動をさらにつなげていきたい」とあいさつしました。

会場には、やまどりや桜、雪の結晶などのふるさとの自然を題材にした作品をはじめ、仏画やびよぶ絵など過去最高の74点を展示。深みのある黒や赤、独特の美の世界を表現した優美で繊細な漆の芸術は訪れた人たちを魅了しました。

18日夜にはグリーンテージで「勝正弘先生を囲む会」が行われ関係者24人が出席。勝さんご家族や同級生も出席し、和やかな会となりました。

## 第31回 青少年健全育成 地域と親子の絆を深める

# ミニサッカー大会



ワールドカップに負けない熱戦を展開



第31回青少年健全育成ミニサッカー大会は6月29日、総合運動公園で行われ、3つの部門に28チーム、小学生209人が参加し、熱戦を繰り広げました。開会式では、昨年度優勝チーム（高学年の部・女子の部）のキャプテンが健全育成へのメッセージ宣誓を、北部ジェネレーター

シヨンズ・キャプテンの岩澤麗夢くん（葛巻小6年）が選手宣誓を元気よく行いました。この日のために各小学校や子ども会ごとに練習してきた子どもたちは、家族の声援を受けながら、最後まで一生懸命にボールを追いかけてシュートを狙いました。

## 健全育成へのメッセージ



小屋瀬ミルキーウェイ  
キャプテン

千葉 葵さん  
(小屋瀬小6年)

ベガルタ浦子内  
キャプテン

河原 隼士くん  
(葛巻小6年)

■僕たち、私たちは、地域の一員として、自分たちで考え、自分たちで行動できるような地域活動にしていきたいと思ひます。■家庭では、その日あったことを家族とたくさん話ができる時間を作ったり、家庭の中で役割を持ち、家族を助けていきたいと思ひます。■地域では、地域の方々には、大きな声であいさつや返事をしたりして、みんなが声を掛けやすいような雰囲気を作りたいと思ひます。

## 高学年の部

### 優勝 ガンバ茶屋場



(前列左から) 吉澤明香里、山形奏心、本宮愛笑 (後列左から) 上打内龍弥、山本幸大、MVP 柳岡龍馬、丸山貴大

準優勝 新町マリノス

第3位 田子・田代FC、城下市マドリッド

## 低学年の部

### 優勝 五日市 スーパーメッツ



(前列左から) 山岸快梨、栗村脩斗、丹内一郎 (後列左から) MVP 佐々木理人、惠津森大貴、山岸千笑、松浦蒼太

準優勝 城下市ファイターズ

第3位 新町キッズ、小屋瀬ファイターズ

## 女子の部

### 優勝 五日市 サンフラワー



(前列左から) 大崎琴弓、阿部美咲、佐々木碧泉、辰柳遙菜 (後列左から) 橘幸恵、梶谷侑花、MVP 惠津森一葉、堀内華来彩

準優勝 小屋瀬ミルキーウェイ

第3位 江川レインボー6